

ソーシャルメディアにおける新しい社会

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

ソーシャルメディアが、新しい生活ツールとして、その新しい現実における新しい可能性を提案することは、社会のデジタル化への変化を現実にするものである。

これらはビッグデータと情報社会が、共有の利益において合致し、これらが新しい生活ツールとして新しい現実の創造を有するものである。

これらはコミュニケーションツールとして、都市生活における必需品として存在することは留意したい。

これらは情報化社会が、ビッグデータとともに、さらなる新しい現実の創出を提案しているのであり、未来という新しい現実が、デジタル化した新しい社会への転換として存在することはもはや疑うことはできないのである。

これら生活ツールが、新しい現実を創造していることは真実なのである。市民はデジタルサービスにおける利便性を求めているのである。

これらは社会における情報の共有が、新しい社会現実を有することも真実なのである。これらは新たなデジタル社会という潮流がもはや、現実として確固たる自己を有しているのである。

他方において、ビジネスや生活における、これらとの連携も存在する。スマートホームやスマートビジネスという、これらデジタル化した現実、ソーシャルメディアにおける新しい可能性なのである。

ソーシャルメディアが全ての分断された現実を統一することは可能であると考えられる。これらは、情報における社会の統一である。

これらは情報化社会がビッグデータなどとともに、ソーシャルメディアにおいて統一されることは、そのデジタル社会の連携が、生活と社会における新しいライフラインとして整備できるのである。